

令和元年（2019年度）畜産 GAP 拡大推進加速化事業

JGAP ロゴマーク（畜産物）研修会

2020年2月6日（木）

明治薬科大学 剛堂会館

一般財団法人 日本 GAP 協会

次第

14：00 開演挨拶

日本 GAP 協会理事 澤田 一彦

14：05 JGAP ロゴマークの使用方法和識別管理について

15：10 JGAP ロゴマーク使用事例紹介

株式会社イトーヨーカ堂 市岡 善男

有限会社丸一養鶏場 一柳 憲隆

株式会社フリーデン 加藤 慎太郎

鳥山畜産食品株式会社 鳥山 真

16：30 閉会

JGAPロゴマークの使用方法和 識別管理について

2020年2月6日（木）
一般財団法人 日本GAP協会
明治薬科大学 剛堂会館



本研修会の目的

JGAPは製品認証であり、認証範囲は農場とその農場で生産された家畜・畜産物になります。

それらの生産された畜産物が消費者に届くまでには、と畜・カット・小分け等の工程が必要になりますが、これら加工工程は、JGAPの認証範囲（第一次生産）外です。

そのため、JGAPロゴマークを商品に表示するには、認証畜産物である（または原材料に使用した）ことを保証するための「識別(分別)管理」が重要となります。

JGAPの認証農場の増加に伴い、ロゴマークについての問い合わせや申請が増えていきます。

本研修会を通して少しでも多くの方にロゴマークについて知ってもらい、正しく活用いただくことで、JGAPに対する消費者・生産者・流通業者等への認知度を上げ、JGAP認証取得の普及を推進することを目的としています。

JGAPロゴマークの 使用方法について

3

JGAP

はじめに

GAPとは・・・

GAP (Good Agricultural Practice) 農業生産工程管理

農場をより良くするための工程管理手法であり
「持続可能な農場運営」のための取組

4

	JGAP認証プログラム ロゴマーク	JGAP認証農場 ロゴマーク	JGAP農畜産物使用 ロゴマーク
種類			
ロゴマークの意味	JGAP認証プログラムを表す	JGAP認証を取得した農場であることを表す	JGAP認証農場で生産された畜産物を小分け・加工した商品、または原材料として製造した商品であることを表す
使用者	<ul style="list-style-type: none"> ・日本GAP協会 ・協会から使用許諾を得た者 	JGAP認証農場・団体	JGAP農畜産物使用ロゴマークの使用に責任を持つ者
使用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・日本GAP協会公式発行物 ・JGAP認証書 ・協会から許諾を受けたもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺（農場・団体に所属する者に限る） ・販促資材（ウェブサイト/パンフレット/看板など） ・認証農場から出荷された認証農畜産物とその包装・梱包資材 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品*の包装・梱包資材 ・商品*に関する販促資材（ウェブサイト/パンフレットなど）

* 商品とはJGAP認証農場で生産された畜産物を小分け・加工した商品、または原材料として製造した商品をいう

5

JGAP標準品目名リスト（家畜・畜産物）

品目名	注 釈
乳用牛・生乳	<ol style="list-style-type: none"> 1 生乳は、バルクタンクにおける保管まで。 2 乳用牛・生乳いずれかの品目に限定して認証の対象とすることができる。 3 認証の対象を生乳に限定した場合においても乳用牛の飼養工程を含む。
肉用牛	乳用種を含む。
豚	
採卵鶏・鶏卵	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鶏卵は、GPセンター等への出荷まで。 2. 採卵鶏・鶏卵いずれかの品目に限定して認証の対象とすることができる。 3. 認証の対象を鶏卵に限定した場合においても採卵鶏の飼養工程を含む。
肉用鶏	

6

JGAP認証範囲
(認証家畜・畜産物)



乳用牛・生乳



肉用牛



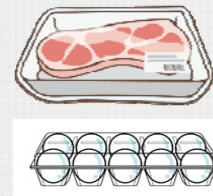
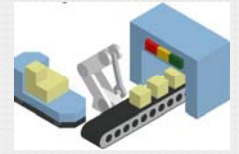
採卵鶏・鶏卵



豚

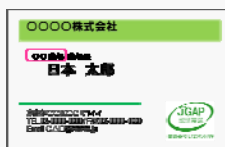


JGAP認証範囲外
(小分け・加工・製造工場など)



※認証農場産の家畜・畜産物を小分け・加工、
または原材料として製造した商品

農場(を紹介する場合は、**認証農場**ロゴマーク



商品*(を紹介する場合は、**農畜産物使用**ロゴマーク



* 商品とはJGAP認証農場で生産された家畜・畜産物を小分け・加工した商品、または原材料として製造した商品をいう

(1) JGAP認証農場ロゴマーク



9

JGAP

認証農場ロゴマーク

<表示方法 (細則*3.3) >

*細則 = 「JGAPロゴマーク使用の細則」 第9版

1. 色の変更不可（白黒印刷は可）：3.3.1(2)
2. 認証農場・団体の名称(通称も可)を必ず併記：3.3.2(1)
3. ロゴマーク自体がブランドであるような表示または説明は不可：3.3.2(2)
4. 縦横の比率、デザイン、登録番号の変更不可：3.3.3(1)
5. 拡大・縮小は可：3.3.3(2)

★申請時・変更時・新規使用时には
事前に必ず協会にデザイン案を報告して承認を得る

10

< 禁止事項 >

1. 色の変更不可(白黒印刷は可)



ロゴマークの一部に色をおかない



登録番号(一部)の色を変更をしない



影付けをしない



色を変更しない



白抜き(色の反転)はしない

< 禁止事項 >

4. 縦横の比率、デザイン、登録番号の変更不可

※登録番号の位置を含めてひとつのデザイン



比率を変更しない



トリミングしない



書式を変更しない



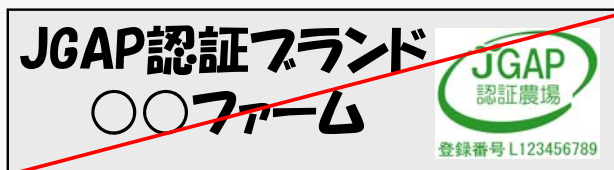
登録番号を削除しない



登録番号の位置を変えない

< 禁止事項 >

3. ロゴマーク自体がブランドであるような表示または説明



5. 拡大・縮小は可能だが、以下の場合には不可

①農場名・企業ロゴより目立つほどの拡大



②登録番号が判別できないほどの縮小



< 表示方法例 >

①名刺



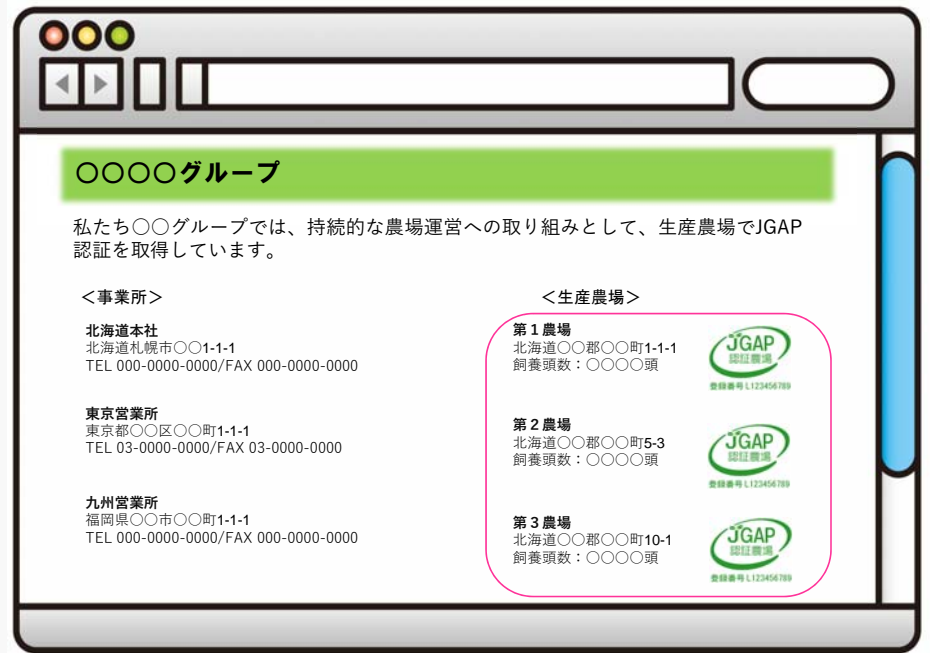
- 認証農場・団体名を必ず併記
- 原則、農場に所属する者の名刺に表示できる（同一グループでも所属農場が異なる場合は不可）
- 経営者であって、企業内に複数農場がある場合は、どれかひとつのロゴマークを代表として記載（可能であれば、認証取得した農場名を記載）

< 表示方法例 >

②販促資材
(ウェブサイト)

- 認証農場・団体名を必ず併記
- グループ内に複数農場がある場合は、認証を取得した農場がわかるように表示

※すべてのロゴマークを表示できない時は、どれかひとつのロゴマークを代表で表示し、認証農場名を記載する



< 申請の流れ >

①申請者：認証を取得後（認証書の発行後）、協会に申請書と添付書類を提出



②協 会：デザイン案について確認
(必要があれば修正依頼)

申請者：修正依頼があれば修正



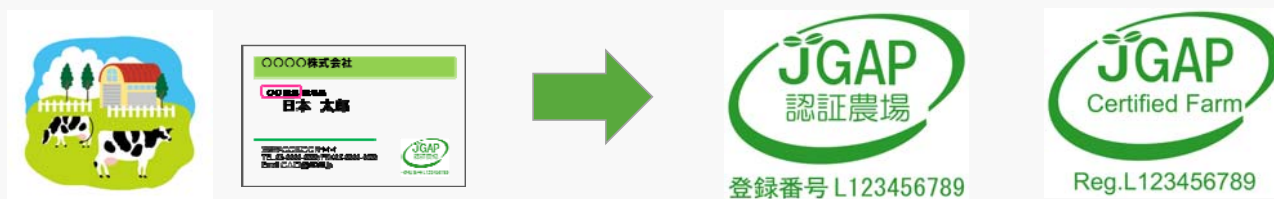
承認



③協 会：ロゴマークのデータ（CD-R）、使用許諾書、請求書を発行（郵送）

申請者：請求書を受領後、期日内に振込

農場(を紹介する場合)は、**認証農場**ロゴマーク



商品*(を紹介する場合)は、**農畜産物使用**ロゴマーク



* 商品とはJGAP認証農場で生産された家畜・畜産物を小分け・加工した商品、または原材料として製造した商品をいう

(2) JGAP農畜産物使用ロゴマーク



<表示方法（細則*4.3・4.4）>

*細則 = 「JGAPロゴマーク使用の細則」第9版

1. 色

- ①変更可 — 商品の包装・梱包資材：4.3.1(1)
- ②変更不可(白黒印刷は可) — 販促資材：4.3.1(2)

2. 縦横の比率、デザイン、登録番号の変更不可：4.3.2(1)

3. 拡大・縮小は可：4.3.2(2)

4. 商品原材料のうち、どれが「認証農畜産物」であるか記載する：4.4(3)

★申請時・変更時・新規使用時には
事前に必ず協会にデザイン案を報告して承認を得る

<禁止事項>

*商品 = JGAP認証農場で生産された畜産物を小分け・加工した商品、または原材料とした製造した商品

1. 色(変更可)

①商品*の包装・梱包資材に表示する場合



ロゴマークの一部に色をおかない



登録番号(一部)の色を変更をしない



影付けをしない

< 禁止事項 >

* 商品 = JGAP認証農場で生産された畜産物を小分け・加工した商品、または原材料とした製造した商品

1. 色(変更不可)

②商品*に関する販促資材(ウェブサイト・パンフレットなど) の場合



登録番号 L123456
ロゴマークの一部に色をおかない



登録番号 L123456
登録番号(一部)の色を変更をしない



登録番号 L123456
影付けをしない



登録番号 L123456
色を変更しない



登録番号 L123456
白抜き(色の反転)はしない

< 禁止事項 >

2. 縦横の比率、デザイン、登録番号の変更不可

※登録番号の位置を含めてひとつのデザイン



登録番号 L123456
比率を変更しない



登録番号 L123456
トリミングしない



登録番号 L123456
書式を変更しない



登録番号を削除しない



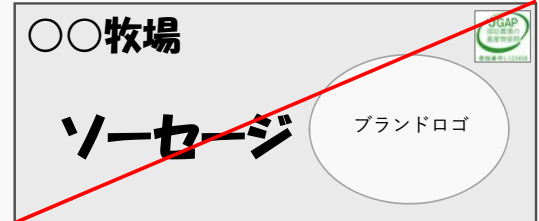
登録番号の位置を変えない

< 禁止事項 >

3. 拡大・縮小は可能だが、以下の場合には不可

①商品名・ブランドロゴより目立つほどの拡大

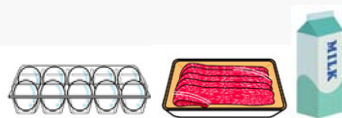
②登録番号が判別できないほどの縮小



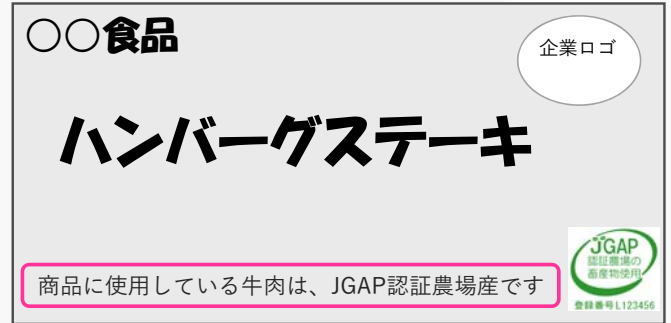
< 表示方法例 >

①商品の包装・梱包資材

●単一の原材料商品
(香辛料、商品添加物を除く)



●単一の原材料ではない商品
(香辛料、商品添加物を除く)



- 色の変更・拡大・縮小は可
- 縦横の比率・登録番号など、デザインの変更不可
- 単一の原材料でない商品は、原材料のうち、**どれが「認証農畜産物」であるか記載**する

< 表示方法例 >

② 販促資材

(商品パンフレット)

- 色の変更・拡大・縮小は可
- デザインの変更不可
(縦横の比率・登録番号の位置など)
- 原材料のうち、**どれが「認証農畜産物」であるかを記載**する
(単一の原材料の場合は除く)
- 企業内で販売している商品のうち、**認証農場産以外の原材料を使用している商品がある場合は、誤認を与えないように表示**する



< 申請の流れ >

- ① 申請者：協会に**申請書**と**添付書類**（チェックリスト・デザイン案など）を提出
- ② 協会：申請内容について確認
(必要があれば修正依頼) → **承認**
申請者：修正依頼があれば修正
- ③ 契約の締結(協会から契約書を送付)
- ④ 協会：ロゴマークのデータ (CD-R)、使用許諾書、請求書を発行 (郵送)
申請者：請求書を受領後、期日内に振込

< 申請書類 (必須書類) >

⑤ロゴマークの表示デザイン案

<例> カットした精肉の包装資材

ロゴマークの表示
位置・大きさを
明確に示す



文字による
JGAP認証
の表示
(申請不要)

< 申請書類 (必須書類) >

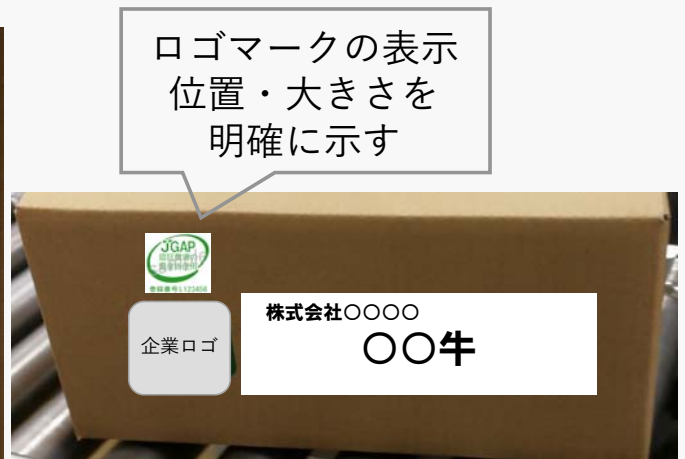
⑤ロゴマークの表示デザイン案

<例> 部分肉の包装・梱包資材

ロゴマークの表示
位置・大きさを
明確に示す



ロゴマークの表示
位置・大きさを
明確に示す



★デザインは確定したら、印刷（使用）する前に協会に最終確認をしてください。

★新たな商品・販促物に表示 or デザインを変更する際には**事前確認が必要です！**

印刷後に修正が必要にならないよう、ご協力をお願いします。

<使用状況報告と継続申請の流れ>

①協会：有効期限の**約2か月前**に使用状況報告提出依頼メールを送付



②申請者：1年間の**使用状況報告書**と**添付書類**（**ロゴマークを表示している商品と販促資材の画像、自己点検チェックリスト、入荷先リスト**など）

+

継続申請書（ロゴマークの使用を継続する場合）



③協会：必要があればロゴマーク使用方法の改善依頼
申請者：対応と改善結果を報告



④協会：使用許諾書、使用料の請求書を発行（郵送）
申請者：請求書を受領後、期日内に振込

< 必要書類 (必須書類) >

- ①使用状況に関する報告書 (様式B3)
- ②自己点検チェックリスト (様式B3-1)
- ③ **ロゴマークを表示した商品・販促資材の画像**
- ④組織図 (変更がないか確認)
- ⑤ **入荷先リスト (1年間に使用した入荷先リスト)**
- ⑥その他、必要に応じて識別管理の証明書類

2つのロゴマーク

農場(を紹介する場合は、**認証農場**ロゴマーク



商品*(を紹介する場合は、**農畜産物使用**ロゴマーク



* 商品とはJGAP認証農場で生産された家畜・畜産物を小分け・加工した商品、または原材料として製造した商品をいう

JGAP農畜産物使用ロゴマーク 識別管理について

37



ロゴマーク使用の要件

商品に「JGAP農畜産物使用ロゴマーク」を表示するには、JGAP認証農場産の原材料を使用していることを保証いただく必要があります。

そのためには、

- ①認証家畜・畜産物の**トレーサビリティの確保**
- ②加工・流通の過程における**識別管理**

を確実にすることが重要です。

38

申請時チェックリスト

様式B1-2:2019.06.21

JGAP農畜産物使用ロゴマーク 使用許諾申請書 申請時チェックリスト			
チェック項目		添付書類	
1	自己点検 管理責任者は、[総合規則]、[ロゴマーク使用の細則]、[使用契約書]に記載のロゴマークに関する内容を把握し、本チェックリストを活用した自己点検により使用方法を確認している		<input type="checkbox"/>
2	自己点検により要求を満たさない項目が確認された場合は、改善を行い全項目が満たされたことを確認した	本チェックリスト	<input type="checkbox"/>
3	発行料・使用料 発行手数料(初年度)、年間使用料が発生することを了承している		<input type="checkbox"/>
4	変更時の連絡 申請内容に変更がある場合、「様式B1：JGAP農畜産物使用マーク 使用許諾申請書」および添付書類を使用して、協会に連絡することを承諾している		<input type="checkbox"/>
5	責任体制 ロゴマークの管理責任者(管理部署)、各小分け・製造場所におけるロゴマーク使用の責任者などの責任体制が確立している	管理責任者、管理部署等がわかる組織図	<input type="checkbox"/>
6	原材料の確認 表示対象の原材料(品目)が、認証農場であることを識別し、確認する手順を定めている		<input type="checkbox"/>
7	6の入荷・出荷伝票等の記録を、一定期間(法令等で定められている場合はそれ以上の期間)保存している ※保存方法は紙・電子媒体を問わない		<input type="checkbox"/>
8	申請する小分け・製造場所が、トレーサビリティシステムの構築を要求する第三者認証(ISO22000、SQFなど)を取得しており、トレーサビリティシステムに関する項目に不適がない	証明できる書類(認証書のコピーなど)	<input type="checkbox"/>
9	8に該当しない場合で、表示対象となる品目(原材料)は、入荷先が特定されており、認証農場の原材料以外は取扱っていない	入荷先リスト(登録番号と登録農場・団体名を必ず記載)	<input type="checkbox"/>
10	※8.9に該当しない牛肉または豚肉のカット作業を行う精肉販売者 認証農場以外の牛肉または豚肉の取扱いはあるが、自社で識別管理システムを構築して、認証畜産物と非認証畜産物の識別が確実にしている	様式B1-3:牛肉・豚肉の識別管理チェックリスト	<input type="checkbox"/>
11	※8~10に該当しない使用者 表示対象の品目(原材料)で、認証畜産物以外にも扱っているが、自社で識別管理システムを構築して、認証畜産物と非認証畜産物の識別が確実にしている	識別管理システムがわかる書類	<input type="checkbox"/>

39

使用状況報告時の自己点検チェックリスト

様式B3-1:2019.06.21

JGAP農畜産物使用ロゴマーク使用状況に関する報告書 自己点検チェックリスト			
チェック項目		添付書類	
1	自己点検 管理責任者は、[総合規則]、[JGAPロゴマーク使用の細則]、[使用契約書]のロゴマークに関する内容を把握し、年1回以上、本チェックリストを活用した自己点検により検証し、使用方法に違反がない、または「23不正使用への対策」に従っていることを確認している		<input type="checkbox"/>
2	自己点検により要求を満たさない項目が確認された場合は、改善を行い全項目が満たされたことを確認している	本チェックリスト	<input type="checkbox"/>
3	使用料の支払い ロゴマークの使用料を遅延なく支払っている		<input type="checkbox"/>
4	変更時の連絡 管理責任者・申請内容の変更は先立ち、「様式B1：JGAP農畜産物使用ロゴマーク使用許諾申請書」および添付書類を使用して、協会に変更内容の承認を得ている		<input type="checkbox"/>
5	責任体制 ロゴマークの管理責任者(管理部署)、各小分け・製造場所におけるロゴマーク使用の責任者などの責任体制が機能している。 変更があった場合は、組織図の更新を行い、4に従って協会へ報告している	管理責任者、管理部署等がわかる組織図	<input type="checkbox"/>
6	表示対象の原材料(品目)が、認証農場であることを確認する手順を定めている(第三者が検証できる方法での記録を含む)		<input type="checkbox"/>
7	6の入荷・出荷伝票等の記録を、一定期間(法令等で定められている場合はそれ以上の期間)保存している ※保存方法は紙・電子媒体を問わない	1年分の入荷先リスト(登録番号と登録農場・団体名を必ず記載)	<input type="checkbox"/>
8	使用した原材料の生産者(JGAP認証農場・団体)を把握している		<input type="checkbox"/>
9	申請する小分け・製造場所が、トレーサビリティシステムの構築を要求する第三者認証(ISO22000、SQFなど)を取得しており、トレーサビリティシステムに関する項目に不適がない	証明できる書類(認証書のコピーなど)	<input type="checkbox"/>
10	9に該当しない場合で、表示対象となる品目(原材料)は、入荷先が特定されており、認証農場の原材料以外は取扱っていない		<input type="checkbox"/>
11	※9.10に該当しない牛肉または豚肉のカット作業を行う精肉販売者 認証農場以外の牛肉または豚肉の取扱いはあるが、自社で識別管理システムを構築して、認証畜産物と非認証畜産物の識別が確実にしている	様式B1-3：牛肉・豚肉の識別管理チェックリスト	<input type="checkbox"/>
12	※9~11に該当しない使用者 表示対象の品目(原材料)で、認証畜産物以外にも扱っているが、自社で識別管理システムを構築して、認証畜産物と非認証畜産物の識別が確実にしている	識別管理システムがわかる書類	<input type="checkbox"/>

1 / 2 ページ

40

●責任体制の確認

組織図（ロゴマークの使用責任体制がわかるもの）

⇒ 管理部署・管理責任者を明確にする

●原材料の確認

原材料がJGAP認証農場産であることを確認できる手順を確立

⇒ 入荷先を特定しておく（「**入荷先リスト**」を作成する）

●識別管理

認証農場産と非認証農場産を加工・製造過程中で確実に分別

⇒ 製造場所に状況に応じた証明書類を提出する


- 9 申請する小分け・製造場所が、トレーサビリティシステムの構築を要求する第三者認証（ISO22000、SQFなど）を取得しており、トレーサビリティシステムに関する項目に不適がない ⇒ 証明できる書類（**認証書**など）
- 10 9に該当しない場合で、表示対象となる品目（原材料）は、入荷先が特定されており、認証農場産の原材料以外は取扱いしていない ⇒ **入荷先リスト**
- 11 ※9.10に該当しない牛肉または豚肉のカット作業を行う精肉販売者
認証農場産以外の牛肉または豚肉の取扱いがあるが、自社で識別管理システムを構築していて、認証畜産物と非認証畜産物の識別が確実にになっている
⇒ **牛肉・豚肉の識別管理チェックリスト 様式B1-3**
- 12 ※9～11に該当しない使用者
表示対象の品目（原材料）で、認証農畜産物以外も扱っているが、自社で識別管理システムを構築していて、認証農畜産物と非認証農畜産物の識別が確実にになっている
⇒ 識別管理システムがわかる書類（工程表など）

「②ラベル等で原材料を[個体/ロット]単位で識別している」

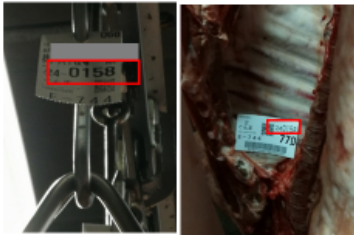
「③原材料は[個体/ロット]単位で、確実に識別できる方法で保管している」

<例示>


個体/ロットの識別管理(枝肉)



<枝肉ラベルの貼付例>



<紙媒体による識別方法の例>



- ・枝肉のフックや枝肉自体に識別表示をして個体/ロット管理を行う
- ・紙が剥がれないよう(なくなる)対策を取る
- ・複数個所に表示して剥がれた時の対策を取る
- ・(可能であれば)ロット単位でレーンを区別する


7
45

「②ラベル等で原材料を[個体/ロット]単位で識別している」

「③原材料は[個体/ロット]単位で、確実に識別できる方法で保管している」



<例示>

個体/ロットの識別管理(部分肉)

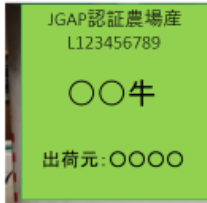


<識別表示の例>

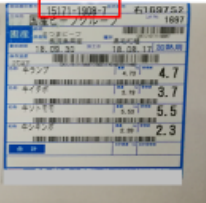
入荷予定表と商品の個体識別番号やロット番号等を照合


↓箱に表示ラベル



↓個体識別番号



↓ラベルに表示



7
45

「②ラベル等で原材料を[個体/ロット]単位で識別している」


「③原材料は[個体/ロット]単位で、確実に識別できる方法で保管している」


<例示>

個体/ロットの識別管理(部分肉)

< JGAP認証農場の証明書の例 >

・JGAP認証取得の証明書など、生産者を確認できる書類を添付してもらう(する)
 ※「認証農場名」は認証書に記載されている登録農場名を正しく記載してもらうこと





JGAP認証農場証明書

この豚肉は、〇〇県で生産した
JGAP認証農場「〇〇農場」の豚肉
であることを証明します。


登録番号L123456789 〇〇 農場


10 47


「④カット作業前に、原材料がJGAP認証農場産であることを確認できるシステムがあり、実行している」

<例示>


枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>







ロットの先頭に指示書
各作業担当者が頭数(15)を確認




前のロットの最後 - バラ
次のロットの先頭 - 肩
→ パーツでロットの切り替えを識別

15 48


「⑤作業中の原材料を[個体/ロット]単位で識別できるシステムがあり、実行している」

<例示>



枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>


- ・札、ラミネート、シールを使ったロット管理
- ・札、ラミネートに関しては休憩毎に枚数を確認し異物混入ないように注意



16

「⑤作業中の原材料を[個体/ロット]単位で識別できるシステムがあり、実行している」

<例示>



枝肉～部分肉カット工程の識別管理<例>

・[個体/ロット]の最初または最後を識別できる対策をしている




ロットの最後を、一部脂を剥いて識別
背脂をのせる

シートをまく
シートをまく
シートをまく

17

「⑥作業後の商品(包装・梱包資材等を含む)は、JGAP認証農場産であることを識別できるシステムがあり、実行している」

<例示>

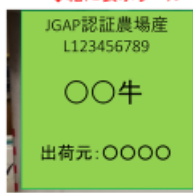


作業後の識別管理(部分肉) チェックリスト※4

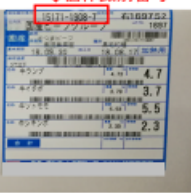
<識別表示例>

・カットした部分肉の包装・梱包資材に、識別できるラベル等を貼付する


↓箱に表示ラベル




↓個体識別番号



↓ラベルに表示





部分肉の包装資材にラベルを貼付 →



〇 JGAP / ASIAGAP
農場検索

認証農場 / 取組開始農場

日本GAP協会 (JGF)
<http://jgap.jp/>



日本GAP協会 Japan GAP Foundation

▶ 日本GAP協会について

▶ 最新情報の提供 メルマガ登録(無料)

JGAPを知りたい

JGAPを導入したい
認証を取りたい

指導員・審査員になりたい
研修を受けたい

よくある質問

JGAP指導員
専用ホームページ

[Home](#) >> JGAP/ASIAGAP 農場検索

農場検索

認証農場数の推移

JGAP/ASIAGAP 農場検索

『JGAP/ASIAGAP認証農場』と『JGAP/ASIAGAP取組開始農場・団体』について、下記ボタンをクリックして、検索することができます。

『認証農場』検索

JGAP/ASIAGAP認証農場とは
第三者機関の審査により、JGAP/ASIAGAPが正しく導入されていることが確認された農場のことを指します。

『取組開始農場・団体』検索

JGAP/ASIAGAP取組開始農場・団体とは
認証を取得することを目指し、JGAP/ASIAGAPの取組みを開始したことを自ら宣言した農場・団体のことを指します。
※取組開始農場・団体の新規受付は終了しました。
[JGAP/ASIAGAP取組宣言受付停止について](#)

[▲ ページトップに戻る](#)

※ 「登録番号 (L + 9桁)」または「農場名」で検索できます。

『JGAP/ASIAGAP認証農場』検索

①登録番号から検索

商品に表示されたJGAP/ASIAGAPマークの登録番号(下図の赤枠部分)を入力し、検索ボタンを押してください。

※何も入力せずに検索ボタンを押すと、全ての認証農場の一覧が表示されます。
※下図は見本です。実在する登録番号ではありません。

登録番号



登録番号 **123456789**



登録番号 **L123456789**



Reg **A123456789**

②条件から検索(1つの項目からでも検索できます)

※何も入力せずに検索ボタンを押すと、全ての認証農場の一覧が表示されます。

農場名

登録番号(上図参照)

都道府県

JGAP/ASIAGAPの版

品目名(野菜)

品目名(果物)

品目名(穀物)

品目名(茶)

品目名(畜産物)

①チラシA4サイズ 210×297mm

「A.牧場」

「B.ポップ」



表

裏



表

裏

②リーフレット二つ折りA6サイズ 105×148mm

「A.牧場」

「B.ポップ」



外面



中面



③POP A7サイズ 74×105mm

「A」



「B」



ご清聴ありがとうございました。



J G A P ロゴマーク使用事例

株式会社イトーヨーカ堂
精肉部 シニアマーチャンダイザー
市岡 善男

1

自己紹介



市岡 善男

略歴

- ・1993年 (株)イトーヨーカ堂入社 相武台店 精肉担当
- ・1998年 希望ヶ丘店 精肉マネージャー
- ・2004年 本部 精肉トレーナー
- ・2007年 精肉部ディストリビューター
- ・2009年 精肉部マーチャンダイザー
- ・2015年 精肉部チーフマーチャンダイザー
- ・2017年 杉戸プロセスセンター センターマスター
- ・2019年 精肉部シニアマーチャンダイザー

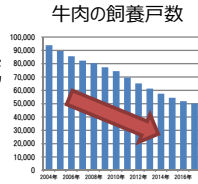


本日はどうぞ宜しくお願い致します。

《環境マーケットの変化》

国内生産者減少

- ・平均年齢66.8歳
- ・従事者も年々減少



自給率低下

- ・生産量ベース : 68%
- ・カロリーベース : 38%



気候変動リスク

- ・世界的な突発的異常気象による原料不足



フードマイルージ

- ・日本は先進国第1位 特に穀物、飼料は海外に依存



原料価格高騰

- ・世界的な人口増により肉、魚原料が高騰食卓に影響を及ぼす

フードロス意識高まり

- ・原料が不足する一方、食用仕向料の8%の約650万tが廃棄

畜産における環境要因は大きく変化

原料を安定的に調達できる仕組み作りは、流通業にとって必須事項。
日本の流通業として、持続可能性に配慮された産地開発を進めていく。

環境マーケット 企業に求められるもの

《ESG投資の拡大》

- E = 環境(Environment)**
環境負荷低減 (二酸化炭素の排出量、環境汚染再生可能エネルギーの使用)
- S = 社会(Social)**
社会に貢献(地域活動への貢献、労働環境の改善、女性活躍の推進)
- G = 企業統治(Governance)**
環境・社会の課題に対して企業としての責任を果たす

新聞記事

ESGもう無視できない 企業は本気、投資に妙味

2019/12/22 4:30 | 日本経済新聞 電子版

📄 📧 📧 📧 📧 📧 📧 📧 📧 📧

環境・社会・企業統治を重視するESG投資が急速に広がってきた。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の本格参入で「ESG投資元年」といわれた2017年から2年が経過。もはや市場関係者や投資家が普遍的に意識すべきテーマだ。最前線を追った。

幅広い業種でESGへの取り組みが広がる	主な内容	予想PER
キリンHD(2993)	TCFDの提言に賛同し、気候変動が原材料に与える影響などを開示	38.8倍
花王(4452)	プラスチック使用量を減らせる新技術を使った容器を開発	26.9
エーザイ(4523)	アジアやアフリカで熱帯病治療薬を無償提供	28.6
JXTG(9120)	アナリスト・機関投資家向けのESG説明会を初開催	10.4
日産(1594)	環境性能に優れた電気自動車向けモーターを開発・製造	44.7
リコー(7752)	主力製品のA3複合機の製造で使う電力を再生エネルギーで対応	13.5
三菱電(1558)	中部電(9402)と協働で再生エネルギー比率引き上げ	8.4
イオン(8267)	グループ全体でプラスチック製レジ袋を有料化へ	75.4

重点課題

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

重点課題

商品や店舗を通じた安心・安全の提供

重点課題

商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

重点課題

社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援

重点課題

お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

ESG投資への関心の高まり。重点課題(マテリアリティ)をグループで取組んでいく。



様々な環境問題や外部不経済等の社会課題が顕在化し、社会の持続的発展の為に、解決が急務となっている。さらなる環境負荷低減を推進、豊かな地球環境を未来に繋ぐため、グループ一丸となり取り組んでいく。

	4つの取り組みテーマ	2050年の目指す姿(2030年・2050年 2段階目標)
	CO2排出量削減	グループの店舗運営にともなう排出量80%以上削減(2013年度比)。 自社の排出量(スコープ1・2)のみならず、スコープ3を含めたサプライチェーン全体での削減を目指す。
	プラスチック対策	オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する容器は、環境配慮型素材(バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙など)100%使用。
	食品ロス・食品リサイクル対策	食品廃棄物を発生原単位(売上百万円あたりの発生量)75%削減(2013年度比)。 食品廃棄物のリサイクル率100%。
	持続可能な調達	オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料100%使用。(2030年までに50%、2050年で100%)

グリーンチャレンジ2050 取組例

●7Pサラダチキンからリニューアルを開始



《取り組み》

バイオマスインキ

印刷するインキに植物由来樹脂を添加



バイオマスフィルム

フィルム素材に植物由来樹脂を使用



薄肉化

資源の使用量削減



環境対応ラベル

環境対応インキ、リサイクルPETなどを用いたラベル



●主要な国際認証の商品導入



《取り組み》



オリジナルブランド 顔が見える食品。

『安心・安全』とおいしさに拘ったイトーヨーカ堂オリジナルのブランドです。



オリジナルブランド 顔が見える食品。

お客様

2000年前後、食に対する不信感が増加

BSE問題(狂牛病)

牛肉偽装事件

残留農薬問題
(中国野菜への不安)

「農薬は〇回しか使っていません・投薬は〇回のみです」と伝えるより、

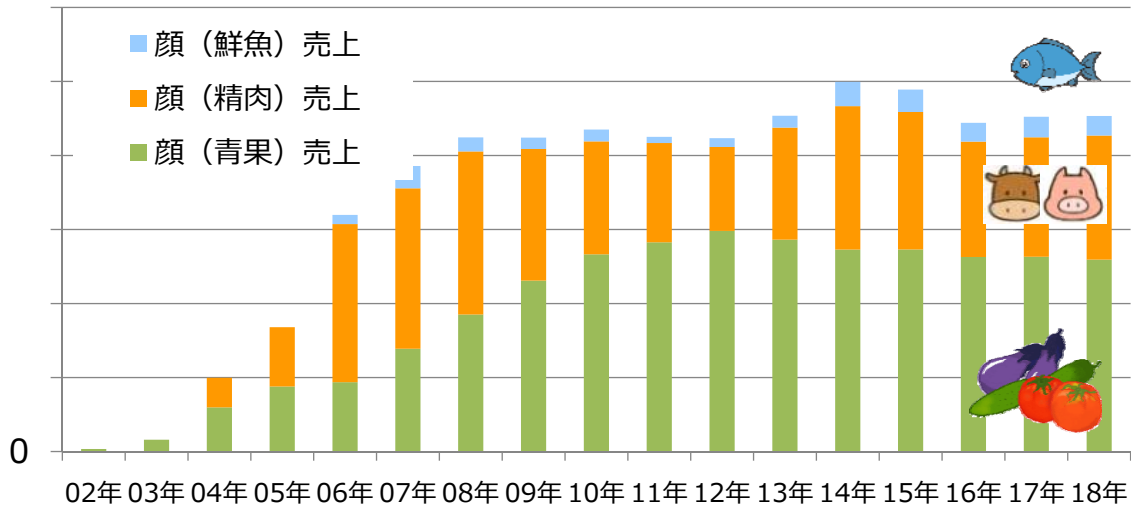
**「生産者の顔・想いやこだわり」を伝えたほうが
お客様の信頼に繋がる。**

→「顔が見える食品。」の誕生。



食品全体の売上が鈍化の中で、顔が見える食品は横ばい。

■ 顔が見える食品。売上推移



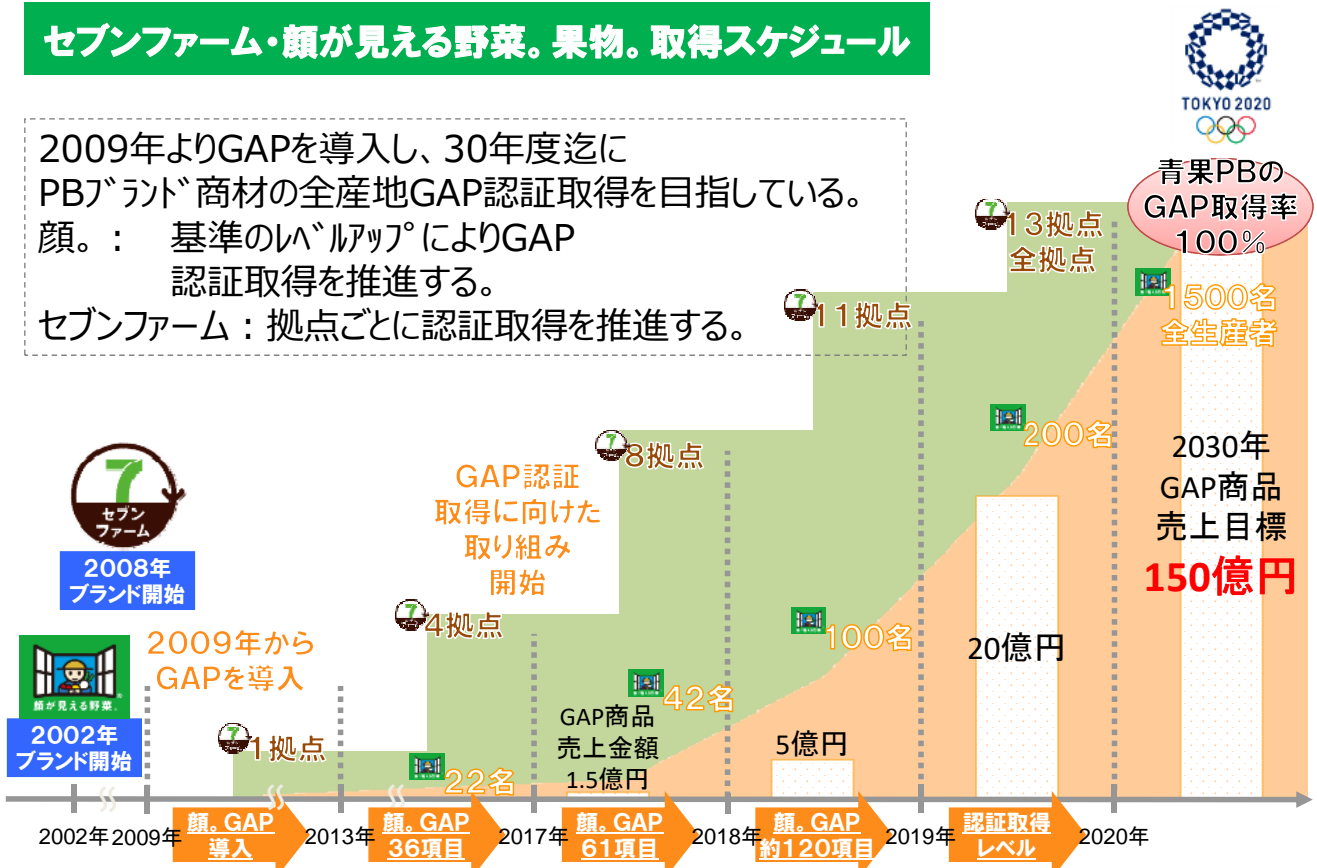
販売店舗 : 158店舗 (イトーヨーカドー全店)
 取扱品目数 : 約150品目
 産地数 : 約790産地
 生産者数 : 全国約6,500名
 (*2018年4月時点)

お買い上げになった
 お客様から一定の評価

顔が見える野菜。JGAPの取組み

セブンファーム・顔が見える野菜。果物。取得スケジュール

2009年よりGAPを導入し、30年度迄にPBブランド商材の全産地GAP認証取得を目指している。
 顔。 : 基準のバリュアップによりGAP認証取得を推進する。
 セブンファーム : 拠点ごとに認証取得を推進する。





『安心・安全』は、もはや当たり前前の時代。
 今後は、より『差別化された、味』にも
 こだわった畜産物のブランドへ進化させたい…。

『安心・安全』



『おいしさ』



11



《今後の計画》

《経緯》

17年：畜産GAP認証推進開始
 18年：生産者メーカーへの取得推奨

20年度

30年度

50%
30農場
主要銘柄

100%
全産地
認証取得
220農場

《現状》20年1月時点

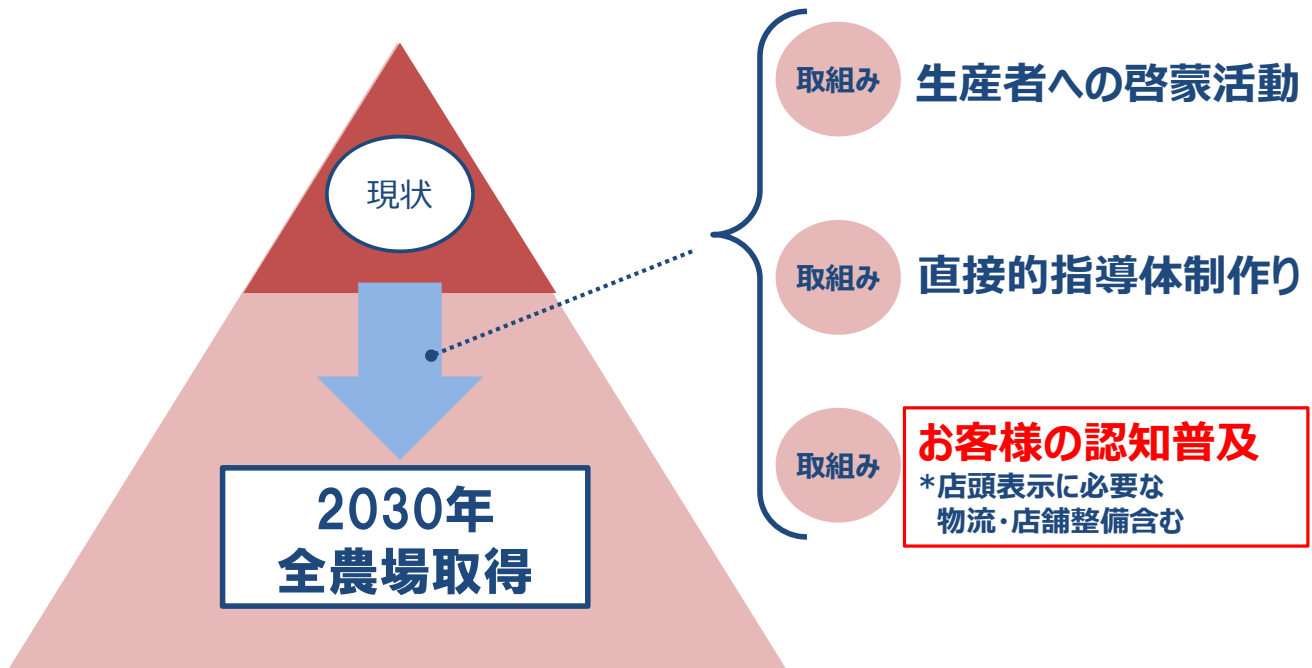
- ・こくきわみ卵取得*畜産第1号 (トマル・パートナーズ)
- 他、19年度取得予定5農場
瑞穂牛、おおやの米豚、あいぽーく、遠野牛

持続可能な調達基準 **6農場**
 顔。売上金額に占める割合 **20%**



精肉部も畜産GAP認証開始を受け、2017年度より取組みを開始。
 2030年までの全産地認証取得を目指す。

《認証取得拡大の取組み》



持続可能性が担保された調達を拡大するための取組みを継続的に実施していく。

認証製品の識別管理

取組み インストア加工時の識別管理

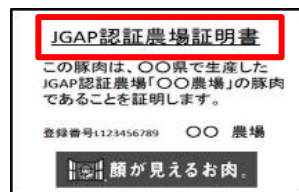
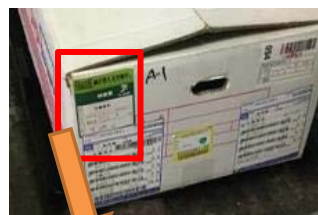
*フローダイジェスト

入荷予定一覧表

納品商品の照合

内容確認

割印の徹底



● 入荷予定表と
納品商品の照合

● 検査票にて
JGAP認証確認

● 産地証明(豚・鶏)
確認、原料スキャン

● 再度確認と伝票、
記録のファイリング保存

入荷～製造～販売まで、認証製品と非認証製品の分別、データ管理を行い、いつでもトレースバックできる仕組みで運用しています。

取組み インストア加工時の識別管理

*フローダイジェスト



●原料開封時の確認
とラベル発行



●商品作り時の
仕置きカードの徹底

●原料保管時は一括表示
検査票・仕置きカードを同梱

●最終商品確認と
MDシールの添付

入荷～製造～販売まで、認証製品と非認証製品の分別、データ管理を行い、いつでもトレースバックできる仕組みで運用しています。

取組み 各店舗への管理の徹底

店舗マネージャー説明会

店舗担当者への指導

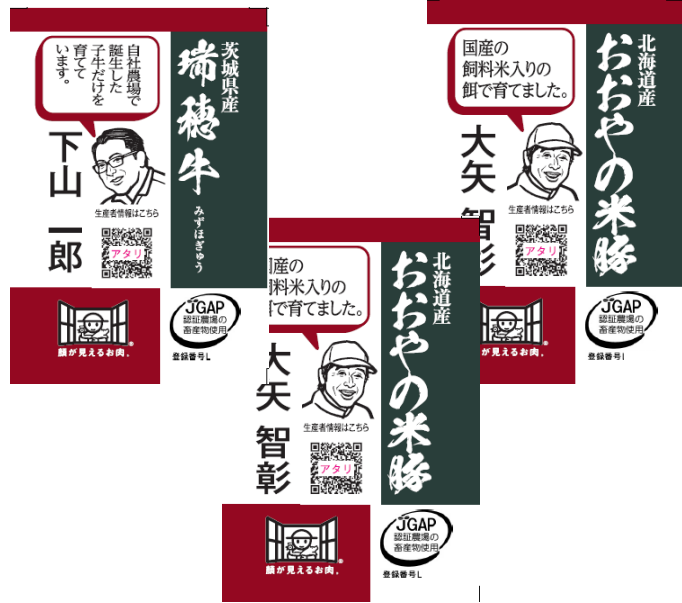


マネージャー会議での店舗責任者への説明会と、各店舗での運用確認ミーティングを実施。

取組み 商品パッケージ



こくきわみたまご商品パッケージ(みさと農場)



瑞穂牛、おちやの米豚(北海道)、あいぽーく(中京)

商品パッケージに認証農場の畜産物使用ロゴマークの表示

取組み 店頭でのプロモーション



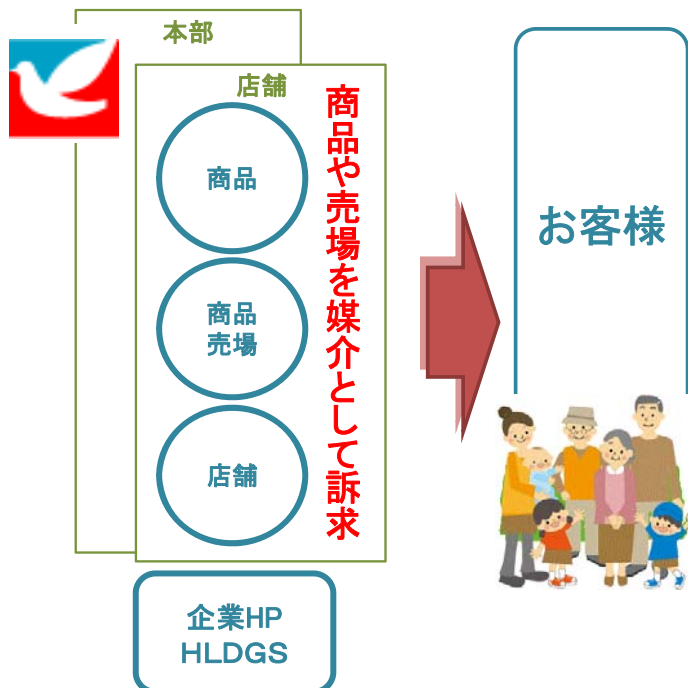
売り場での媒体、とJGAP認証取組み訴求



店頭POP、生産者動画での訴求

イトヨーカ堂の売り場全体でJGAP認証の取組みを訴求していく。

●企業側(IY)の取組



●社会的な流れ



SDGs 推進に向けた
発信の強化

グランイト銀座

IYは商品や売場を媒介として、JGAP訴求に努めていく、また一方で、様々な取組みが各種メディアで取り上げられ、お客さまの認知・理解に繋がる体制作りも必要。

まとめ 3つの・・・たい。

1

生販一体で取り組んでいく

- お客様に、より安全でおいしい食品をお届けするために・・・。
生産者様とごいっしょに取り組んでいきたい。

2

顔が見える食品。を通してJGAPを訴求

- こだわりをお客様にお伝えする手段として、
生産者様のお取組みをJGAPを通して訴求したい。

3

グループ全体で未来に繋いでいく

- 弊社グループ全体で、さまざまな、店舗・売場・商品を通して
お取組みを知って頂き続けることで、
企業としての社会責任を果たしたい。

JGAPロゴマークの事例紹介(鶏卵)

有限会社丸一養鶏場 一柳憲隆

2020年2月6日

JGAPロゴマーク研修会 in明治薬科大学剛堂会館ビル

有限会社丸一養鶏場
代表取締役

一柳憲隆 1971生(48歳)

【会社概要】

- ・設立年 1970年3月
- ・従業員数 43名
- ・飼育羽数
一般ケージ飼育 16万羽
エイビアリー飼育 2万羽
- ・経営特徴
自家育雛育成、飼料米活用
自家配合飼料、
インラインGPセンター



昭和31年の埼玉県越谷市



昭和31年の埼玉県越谷市



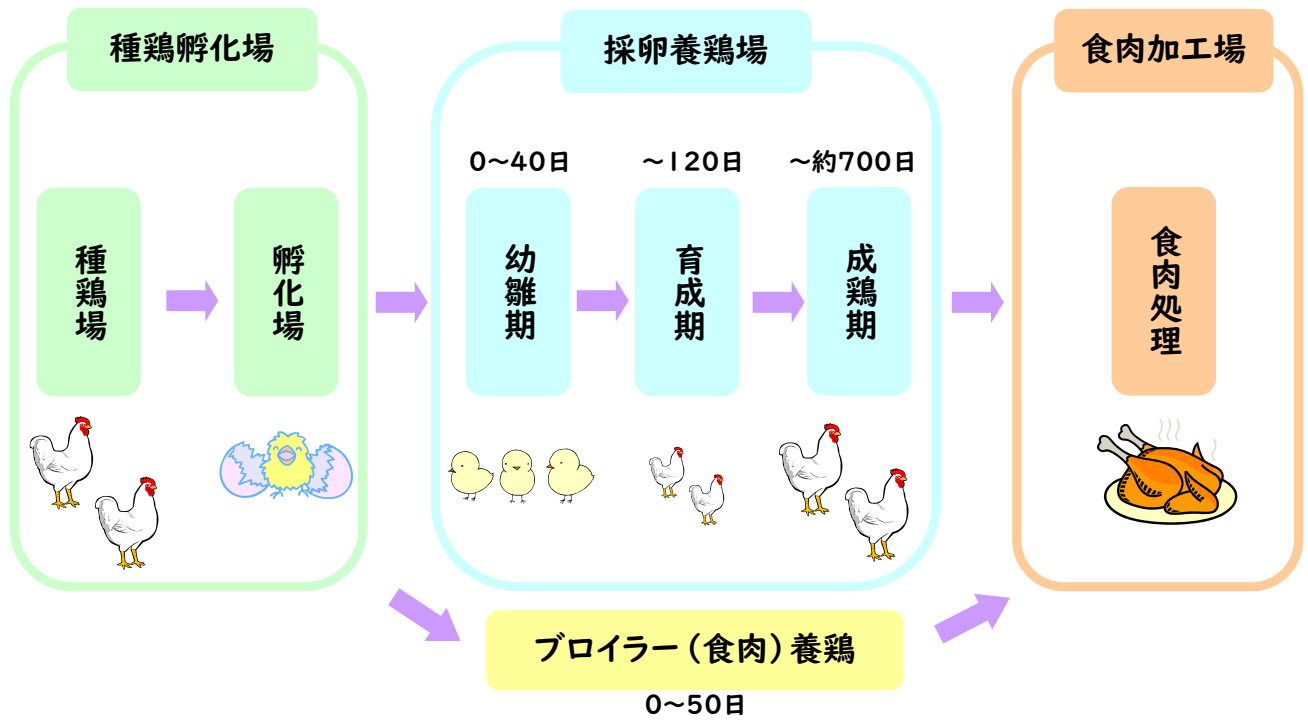
平成31年(令和元年)の丸一養鶏場

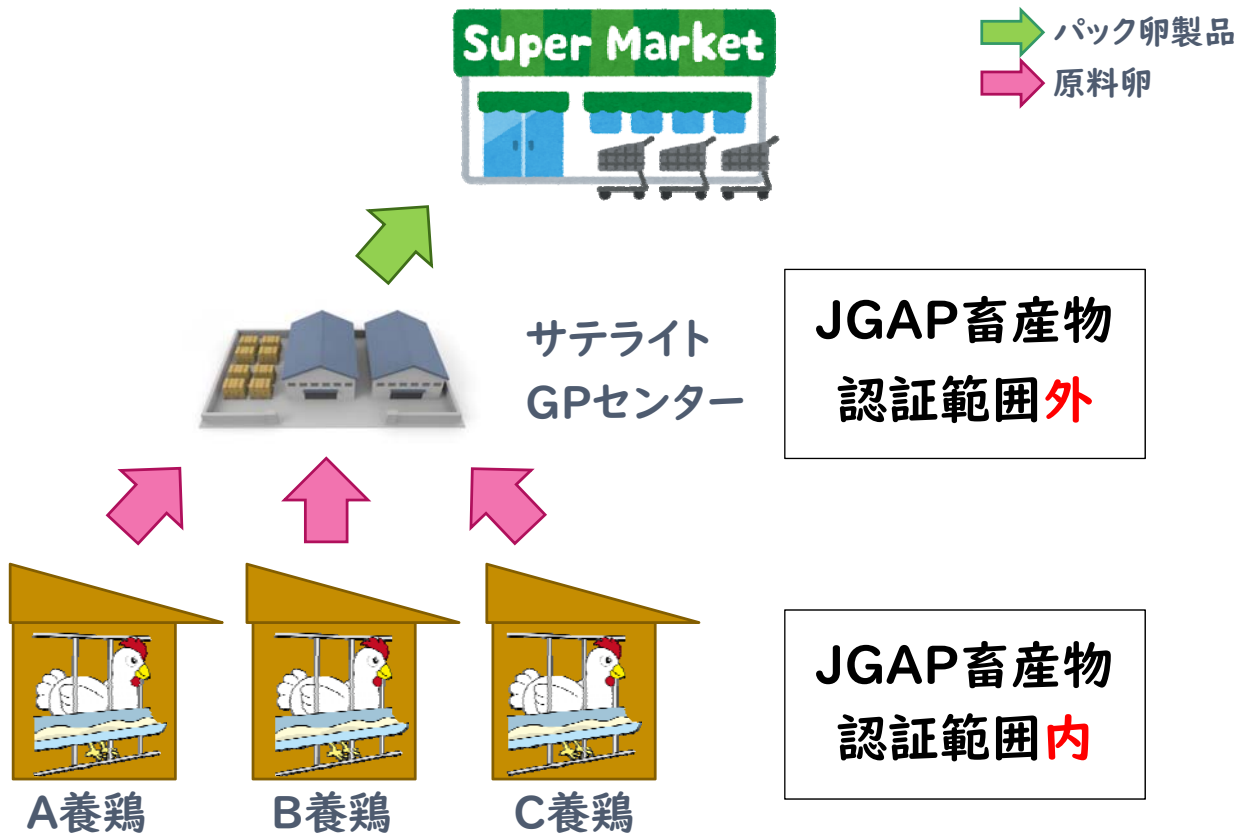


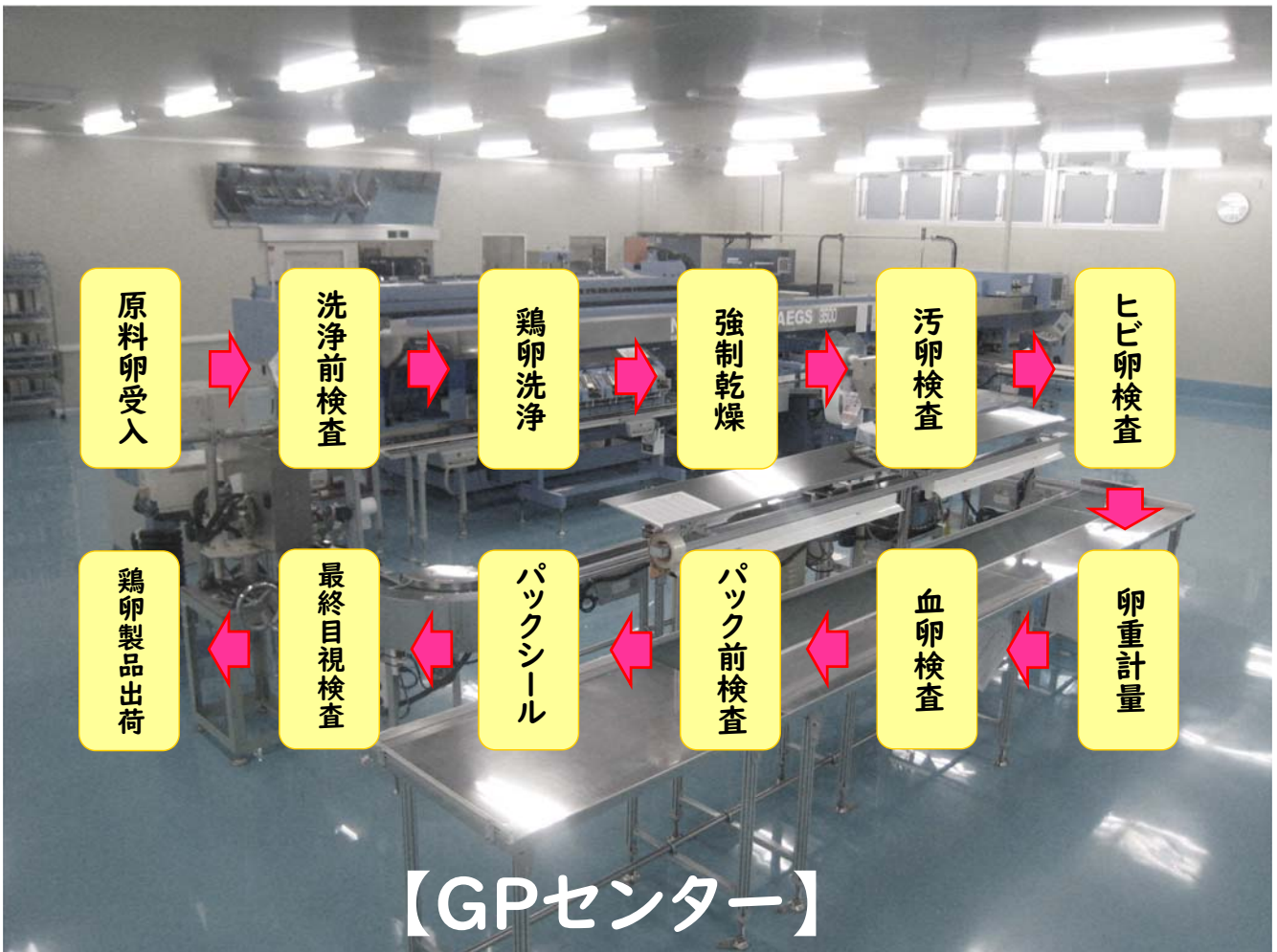
採卵鶏の一生

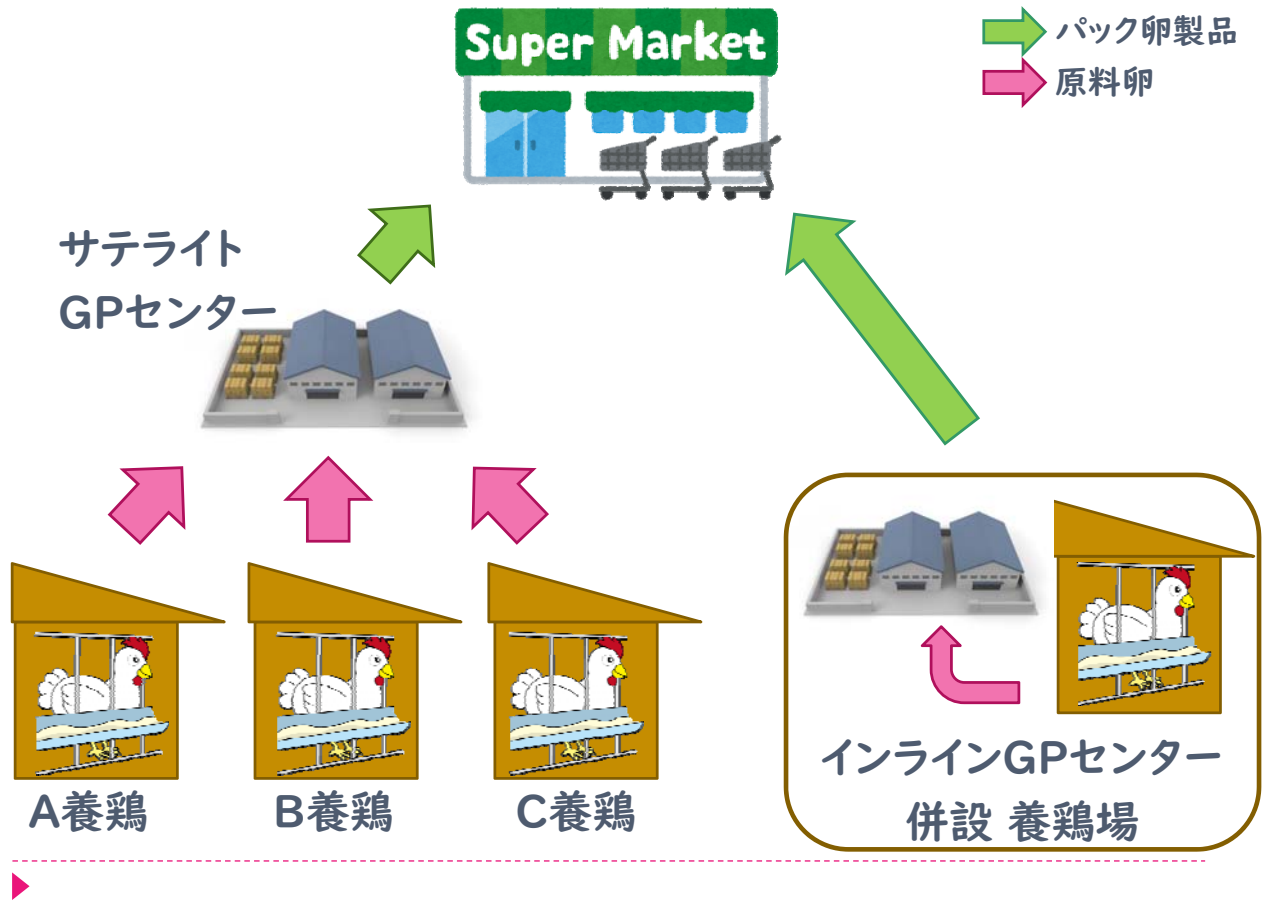


採卵鶏の一生







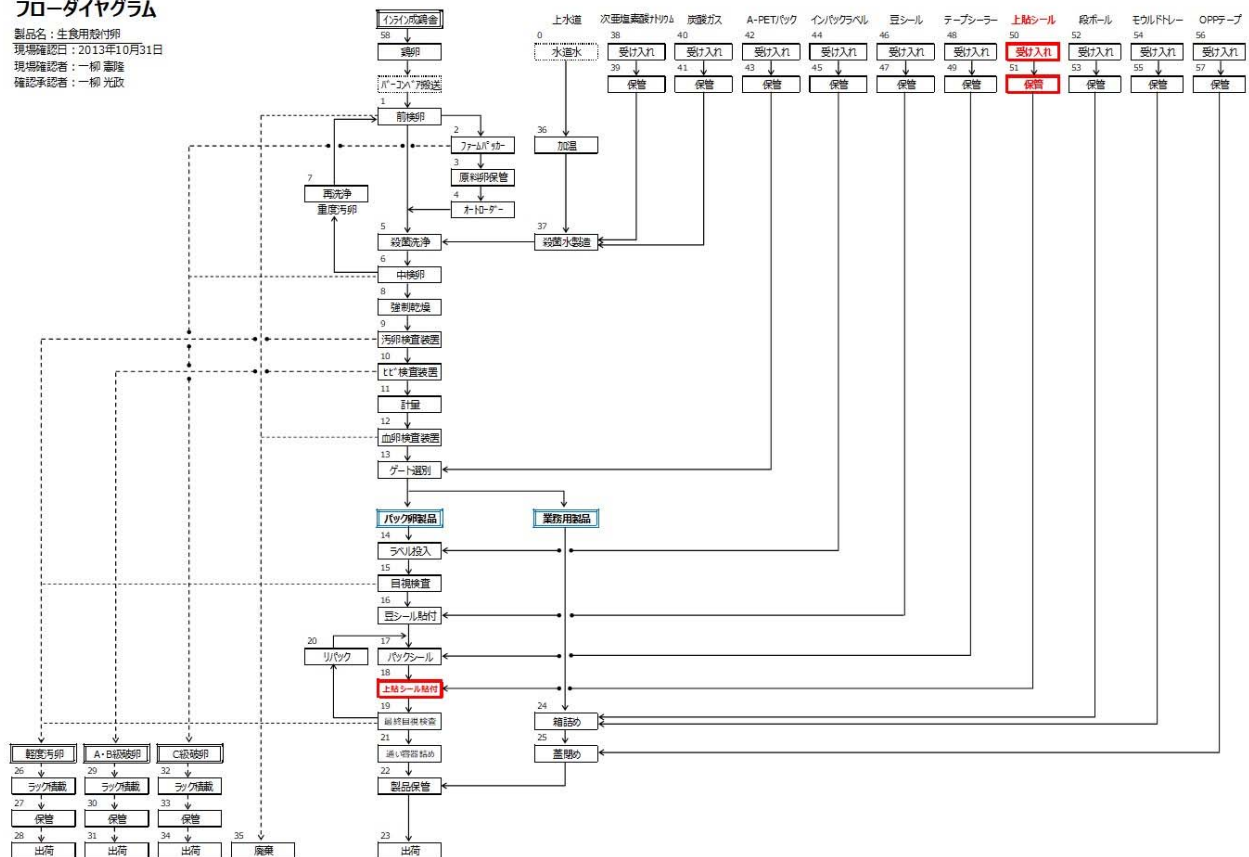


Google Map より

バーコンベア鶏卵搬送 動画16秒

フローダイヤグラム

製品名：生食用殻付卵
 現場確認日：2013年10月31日
 現場確認者：一柳 豪隆
 確認承認者：一柳 光政



JGAP畜産物使用マーク製品



文書番号	M1GP-014	規定文書名	JGAP 農畜産物使用マークの管理規定	[第 1 版]	ページ	2
1. 目的	この規定は、当組織の以下の取り決めを遵守するための内部管理について規定したものである					
	① JGAP 総合規則					
	② JGAP 農畜産物マーク使用契約書					
	③ JGAP マーク使用の細則					
2. 対象範囲	対象鶏卵 : 有限会社丸一養鶏場で採卵した全ての鶏卵					
	対象商品 : 『プリたま』白玉 10 個入り					
	最終製造場所 : 有限会社丸一養鶏場 GP センター 埼玉県大里郡寄居町赤浜 2832					
3. 責任体制	経営責任者: 一柳憲隆 代表取締役					
	管理責任者: 新井佳子 GP センター長					
	製造責任者: 新井佳子 GP センター長					
	資材責任者: 資材発注担当者 ※GP センター各管理担当者一覧表の参照					
4. 責任と役割	経営責任者: JGAP 農畜産物使用マークの版下及び使用許諾書の保管管理 誤使用の是正及び公表 権利譲渡等の不正監視					
	管理責任者: 使用実績の把握及び報告 許諾範囲の変更連絡 無断使用及び不正利用の監視					
	製造責任者: 製造数量の把握 JGAP 農畜産物使用マーク対象商品の包装資材の管理状況検証					
	製造責任者: JGAP 農畜産物使用マーク対象商品の包装資材の発注及び在庫管理					
5. 使用及び管理の検証作業の頻度と実施方法について	頻度: 対象商品の製造毎					
	検証担当: 管理責任者 (製造管理責任者)					
	監査方法: 『バック卵製品日付管理台帳』の使用					

(有)丸一養鶏場 GPセンター資材発注書

発注日： 年 月 日

発注先： 日本モールド工業株式会社 御中

発注者： _____

カテゴリ： 上貼シール・インパックラベル (土日月納品不可)

※会社名、住所、POS、認証マーク 確認すること

	製品名/POS	数量	納入希望日	納入予定日 (発注先記入)	入荷日 (受入担当記入)	入荷時表示 内容チェック	受入 担当	備考	GPセン ター長@
上 貼 シ ー ル	『プリたま』10H/4945065123010 JGAPロゴ	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート	
	『プリたま』6H/4945065123041	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート	
	『乙姫ちゃんたまご』/4945065123034	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート	
	『ナチュラルおじさんの放し飼い卵』12H	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート 10000枚	
	『エコッコ』10H/4945065123195	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート 10000枚	
	『エコッコ』6H/4945065123027	枚	月 日	月 日	月 日			右出し「表巻」リピート 10000枚	
イ ン パ ッ ク ラ ベ ル	『エコッコ』インパックラベル	枚	月 日	月 日	月 日				
	『マルイチのたまご』LL	枚	月 日	月 日	月 日				
	『マルイチのたまご』L	枚	月 日	月 日	月 日				
	『マルイチのたまご』M	枚	月 日	月 日	月 日				
	『マルイチのたまご』MS	枚	月 日	月 日	月 日				
	『マルイチのたまごミックス』黄	枚	月 日	月 日	月 日				
	『らでいっしゅぼーや』茶 ロゴマークなし	枚	月 日	月 日	月 日				

* 発注が確定しましたら、返信FAXをお願いいたします。

返信FAX先 048-582-1847

商品名：プリたま 白玉10個入り

※2015年8月29日改定版(自力)

製造日 2019年12月23日(月)

前回製造ラベル 5枚裏面貼付実施

貼付位置 → 印字位置の日付確認

上貼機日付設定者 A 川井佳子

※日付/チェック

賞味期限 **20.01.06**

開始前ラベル

貼付作業者 B 内田 美子

製造開始時間 10:21

✓チェック日付確認者

※製造開始前までにチェック実施のこと

担当 B	担当 C	担当 D
内田	神田	新井

Q時48分 Q時50分 9時57分

製造数量 168パック(14c/s)

終了後ラベル

貼付作業者 E 内田 美子

製造終了時間 10:35

※日付/チェック

賞味期限 **20.01.06**

✓チェック日付確認者

※アイテム終了1時間以内にチェック実施

担当 E	担当 F	担当 G
内田	神田	新井

10時55分 10時40分 10時41分

交換作業記録 ※実施後には斜め線を入れる

上貼シール サーマルリボン

作業時間： 時 分

* 氏名記入を持ってFAX送付済とする

FAX送付担当 (印)

産地名 (有)丸一養鶏場

開始時

終了時

納帳

濃厚な味わい。

コクと旨みがギユッと詰まった

埼玉そだちの産直たまご

玉 プリたま

鮮度にごこだわり、とれたてを農場直営工場でパッキング。

保存方法：お買い上げ後は冷蔵庫(10℃以下)で保存して下さい。

使用方法：生で食べる場合は賞味期限内に使用し、賞味期限経過後及び殻にヒビの入った卵を飲食に供する際は、なるべく早めに、充分に加熱調理してお召し上がり下さい。

賞味期限 **20.01.06**

4 945065 123010

パックラベル貼付機器 動画11秒





ご清聴ありがとうございました。



JGAPロゴマーク の事例紹介

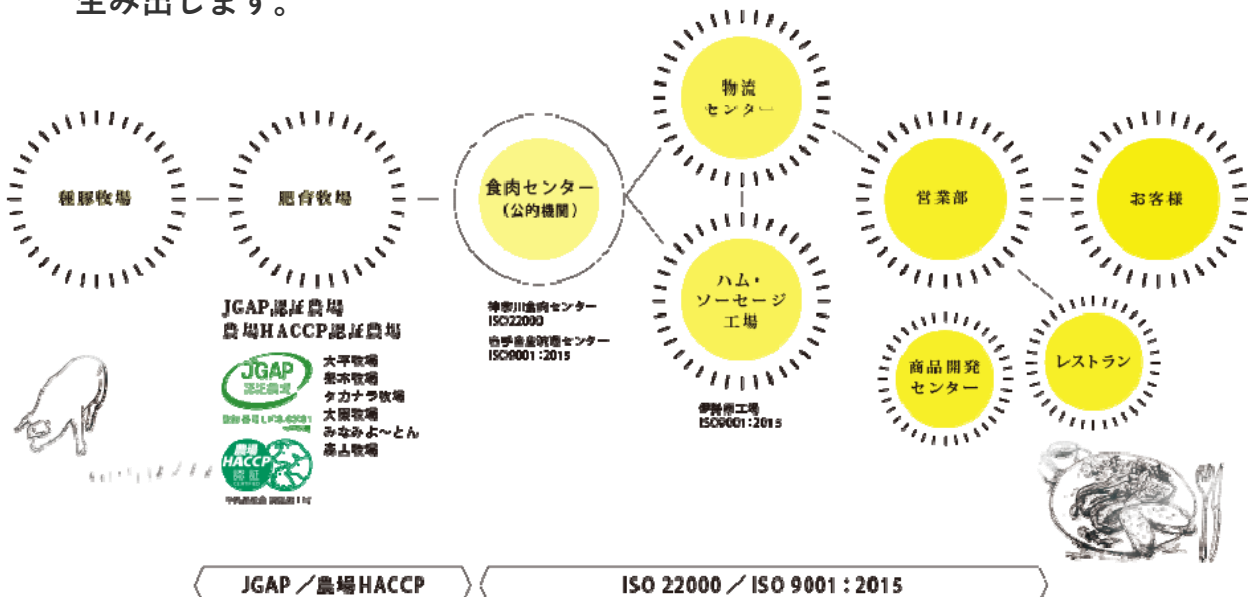


はじめに



フリーデンは、1960年に神奈川県平塚市に誕生しました。日本で初めて「多頭肥育一貫システム」を導入し、確立した会社です。

日本で生まれた豚を、日本で育て、日本で加工し、日本の食卓へ。
フリーデンの「安全・安心・おいしさ」は、すべて「一貫システム」が
生み出します。



生産規模

10箇所の直営・
提携牧場で年間
30万頭



を生産しております。

安全・安心・おいしさのブランド



団体認証

2019年5月、JGAP団体認証
取得しました。

安全・安心・おいしさのブランド



<JGAP認証農場ロゴマーク> **農場用**

・ロゴマークの保管は、直営（梨木・タカナラ・大東）は生産本部、関連（大平、みなみよーとん、森吉）は農場で行う。

・ロゴマークを使用する際は、所定の様式に使用する旨を記入し、生産本部に使用許可申請を挙げ、生販企画室長の承認を得る。

安全・安心・おいしさのブランド



農場用

・ロゴマークの運用および使用実績については、生販企画室が一括管理する。

・ロゴマークを貼付できる範囲

- ①認証農場の看板
- ②従業員名刺
- ③専用車両（バルク、出荷車両）への表示
- ④認証農場となったことの宣伝
～HP、展示会、プレス、パンフレットなど～



登録番号 L10000001

JGAP家畜・畜産物認証第1号となった
大平牧場の認証書と認証マーク

安全・安心・おいしさのブランド



<JGAP畜産物使用ロゴマーク>

流通用

- ・ロゴマークの保管は、生販企画室で行う。
- ・畜産物使用ロゴマークを使用する際は、所定の様式に使用する旨を記入し、生販企画室に使用許可申請を挙げ、生販売企画室長の承認を得る。
- ・畜産物使用ロゴマークの使用実績については、生販企画室が一括管理する。

安全・安心・おいしさのブランド



流通用

- ・畜産物使用ロゴマークを貼付できる範囲
- ①やまと豚製品への表示
 - ②売り場ポップなどの販促物への表示



安全・安心・おいしさのブランド



製造工程フローおよび製造場所リスト

JGAP認証農場	と畜センター	配送センター	最終製造工場	商品分類
(株)フリーデン梨木農場	(株)神奈川食肉センター		(株)フリーデン伊勢原工場	食肉製品
(株)フリーデンタカナラ農場	(株)群馬食肉卸売市場			
(株)大平牧場				
(株)フリーデン大東農場	(株)神奈川食肉センター (株)茨城県中央食肉公社 (株)岩手県食肉流通センター	(株)フリーデン厚木DC	(株)フリーデン平塚工場	食肉 食肉製品
みなみよーとん(株)	(株)神奈川食肉センター (株)茨城県中央食肉公社 (株)茨城県中央食肉公社			
(有)森吉牧場	一般財団法人 三沢畜産公社 (株)秋田県食肉流通公社		(株)フリーデン静岡工場	食肉製品



やまと豚専用車

神奈川食肉センター
ISO22000伊勢原工場
ISO 9001:2008

やまと豚製品への表示事例

2019年4月より新パッケージで発売
(JGAPロゴマーク使用開始)



フリーデン伊勢原工場(直営)で製造する
ハムやソーセージは、やまと豚以外使用
しておりません。

今後のロゴマーク使用に向けて

2020年2月より新パッケージで発売(予定)
(JGAPロゴマーク使用開始)



フリーデン平塚工場(直営)にて製造

持続可能な農業の実現のために
フリーデンはJGAPに取り組んでいます





JGAP認証を得るためのチェックポイントは**113項目**におよび、そのうち99項目に関しては100%ないし95%以上の適合が必要とされます。項目の一例としては以下のようなものがあります。

食品安全

- ✓ えさを安全に保管している
- ✓ 病気が発生した場合すぐに対応できる
- ✓ 専門の獣医師が健康管理をしている

環境への配慮

- ✓ 廃棄物の管理、資源の有効利用
- ✓ 周辺環境への配慮および地域社会との共生
- ✓ 整理整頓の徹底

労働安全

- ✓ 法令遵守し、人権に配慮した労働環境
- ✓ 事故や災害のない安全な職場づくり
- ✓ 働きやすい職場環境の提供

動物への配慮

- ✓ 家畜にとって快適な環境の確保
- ✓ 家畜の健康への配慮
- ✓ 輸送時のストレス軽減



社会的責任

これらが守られることによって
持続可能な農業の実現につながる

イベント事例(販促物使用)①



安全・安心・おいしきブランド



イベント事例(販促物使用)②



やまと豚とハムソーセージのイベント
 ～このやまと豚で作ったハムソーセージです～



イベント事例(販促物使用)③



2019年2月 スーパーマーケットトレードショー
 フリーデنبースでのJGAP認証をアピール



やまと豚ロース & バラ肉のパイ包み焼き



やまと豚骨付きロース肉と骨付きバラ肉のBBQ



ご清聴まことに
ありがとうございました。

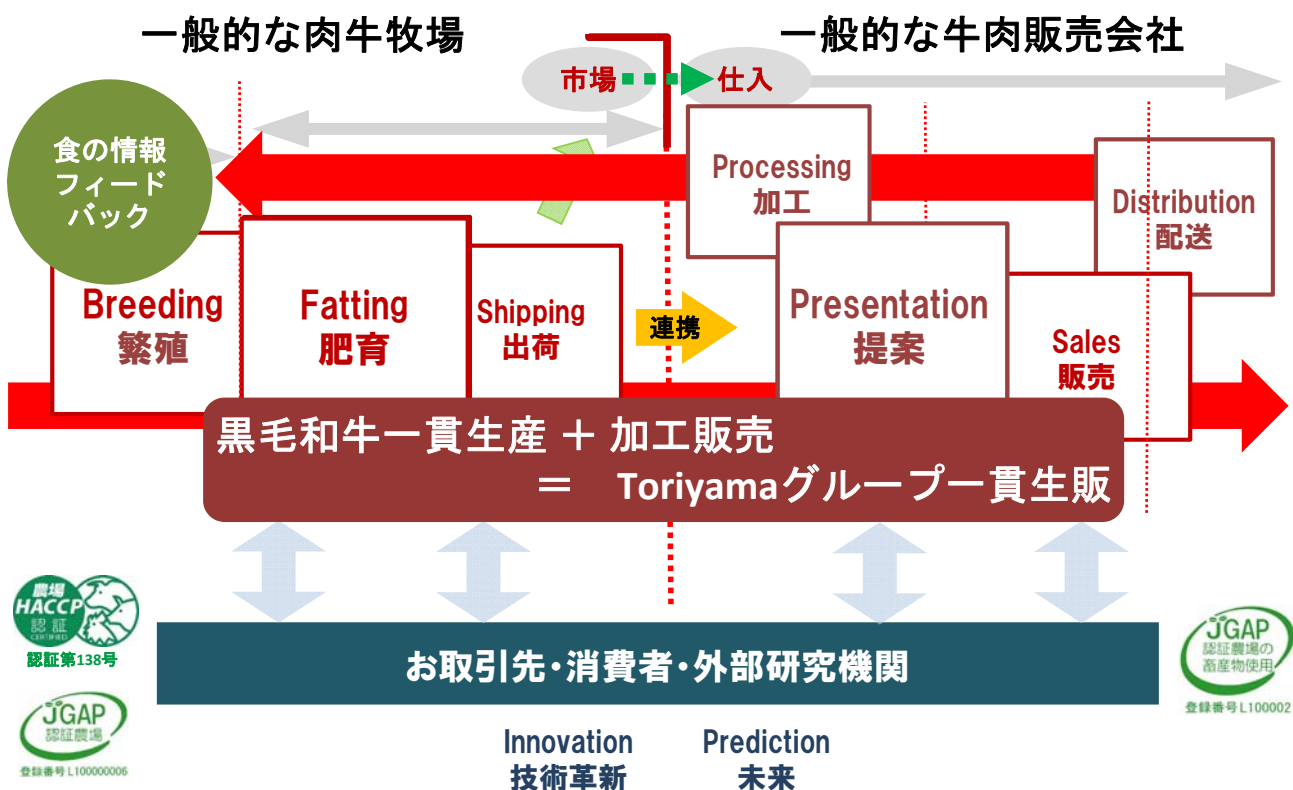
「独自システムを活用した黒毛和牛一貫生販」
 ～ 畜産JGAP・認証マークを活用したマーケット戦略 ～



2020年2月6日
 鳥山畜産食品(株)
 代表取締役 社長
 鳥山 真

Umami:
 A Precious Gift
 from Mother Nature

【 Toriyamaグループ 一貫生販 】



2010年～

脂肪酸組成の測定



脂質の
評価

2012年～

赤身肉人工味覚センサー測定

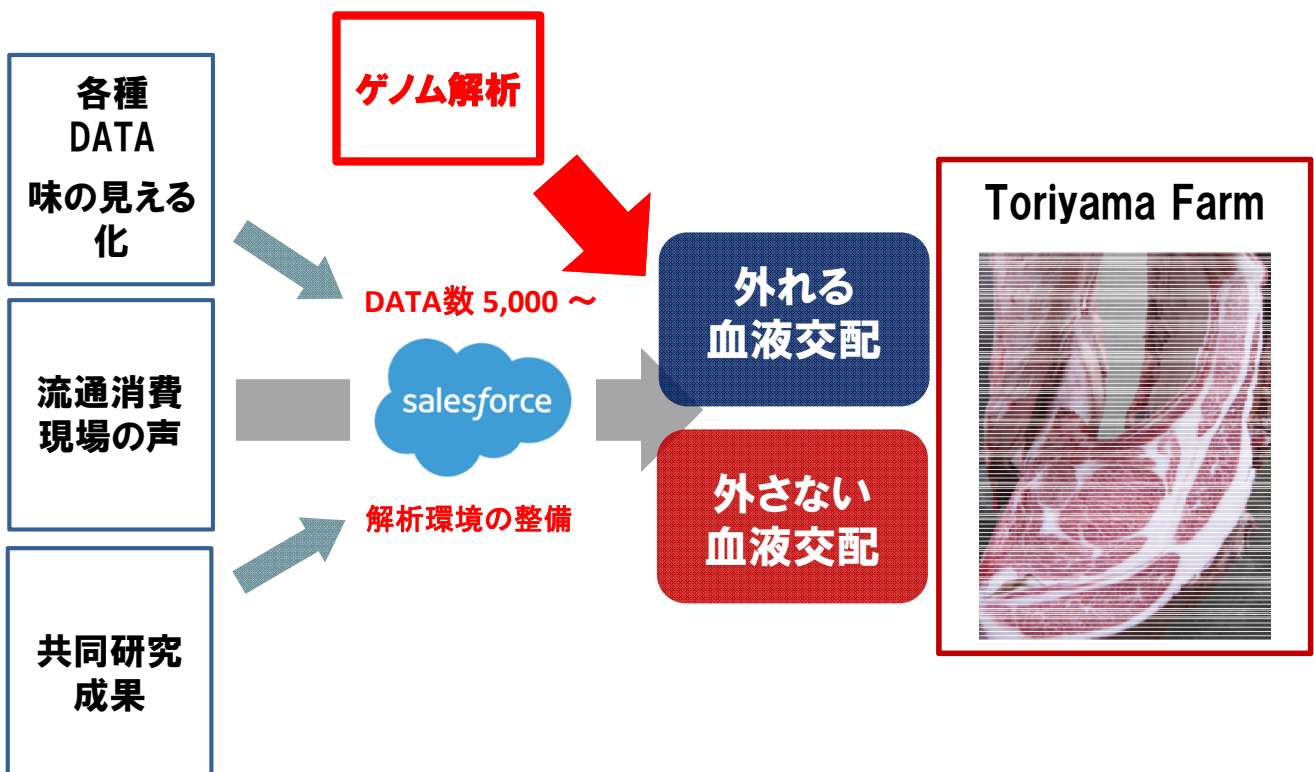


赤身肉
の評価

AISSY (株)

© Toriyama Chikusan Shokuhin Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【 Toriyama 再生産の仕組み 】



© Toriyama Chikusan Shokuhin Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【現場主体の組織管理・経営の見える化】

牧場哺育、育成教育プログラム

項目	10月	11月	12月	1月	2月
衛生管理					
繁殖業務の流れ(現況)					
牛の観察					
分娩					

牧場繁殖部門教育プログラム

業務項目	時系	～2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年
衛生管理							
繁殖業務の流れ(現況)							
牛の観察							
分娩							

教育プログラムの作成

材料費管理の一元化

改善活動の継続

© Toriyama Chikusan Shokuhin Co.,Ltd. All Rights Reserved.

(株)フレッセイ様 2019年11月～



2020年 輸出への活用

TORIYAMA



Reg. L100002

© Toriyama Chikusan Shokuhin Co.,Ltd. All Rights Reserved.

TORIYAMA

美味しい、また食べたい。

© Toriyama Chikusan Shokuhin Co.,Ltd. All Rights Reserved.

